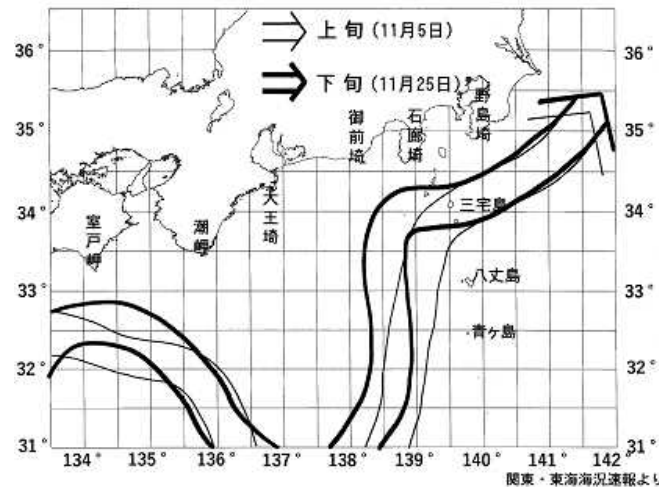


漁海況月報

令和6年11月1日

No. 11 ~11月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



11月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	22.5	23.7	22.9	22.4	23.5	22.4
	2.0	2.5	2.1	1.4	2.6	1.6
中旬	21.7	22.9	22.2	23.0	22.9	21.6
	2.1	2.8	2.3	2.7	2.9	1.8
下旬	20.3	21.1	20.5	21.7	20.1	20.5
	1.5	1.6	1.4	2.5	1.0	1.6
月	21.5	22.6	21.8	22.4	22.2	21.4
	1.8	2.3	1.9	2.2	2.2	1.6

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

11月を通じてA型で、遠州灘沖で大きく離岸した後、石廊崎沖まで北上する流路となった。

上旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.0°N付近から石廊崎沖33.5°Nまで北上した後北東に進み、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

中旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖31.0°N付近から石廊崎沖33.5°Nまで北上した後北東に進み、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて、一時的に石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘、駿河湾に向けて見られた。

下旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて、石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘、駿河湾に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は曇見で「やや高め」、伊東、下田、焼津で「高め」、稲取、沼津で「極めて高め」であった。中旬は伊東、下田、焼津で「高め」、稲取、雲見、沼津で「極めて高め」であった。下旬は下田、沼津で「やや高め」、伊東、稲取、焼津で「高め」、曇見で「極めて高め」であった。

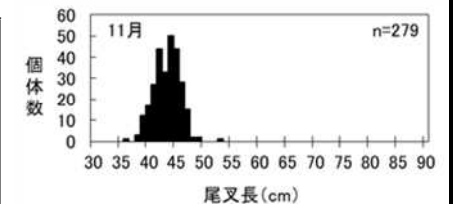
【竿釣カツオ】

11月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは5.6トンで前年同月(27.4トン)の20%であった。平均単価は668円/kgで前年同月(612円/kg)を上回った。

漁場は30°N、139°Eの海徳場、松生場などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長44cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R6年11月上旬	3.9	4	1.0	685
中旬	-	-	-	-
下旬	1.7	2	0.9	629
R6年11月計	5.6	6	0.9	668
R5年11月計	27.4	11	2.5	612
R4年11月計	23.6	11	2.1	553



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は133.0トンで、前年(277.5トン)の48%、平年(266.2トン)の50%であった。また、1か統当たりの水揚量は19.0トン(前年:46.2トン、平年:38.0トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(37.6トン、メアジ、アカカマス、ヤマトカマス)、次いで伊豆山漁場(25.0トン、メアジ、マルソウダ、ふぐ類)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、メアジは18.3トン、前年比1.8倍、平年比4.7倍で、昭和62年以降、最も水揚量が多かった。ヒラソウダは14.7トン、前年比1.4倍、平年比2.7倍であった。マルソウダは13.5トン、前年比27%、平年比40%であった。ヤマトカマスは13.1トン、前年比38%、平年比2.5倍であった。オアカムロは10.0トン、前年比71倍、平年比1.7倍であった。その他の魚種については、クサヤモロが7.7トン、前年比1.1倍、平年比7.3倍で、平成9年以降、最も水揚量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、メアジでは古網漁場が35%(6.3トン)、伊豆山漁場が26%(4.7トン)、川奈漁場が18%(3.3トン)、ヒラソウダでは北川漁場が34%(5.0トン)、谷津漁場が25%(3.7トン)、古網が19%(2.7トン)、マルソウダでは伊豆山漁場が24%(3.3トン)、川奈漁場が23%(3.1トン)、古網漁場が20%(2.7トン)、ヤマトカマスでは古網漁場が36%(4.7トン)、北川漁場が27%(3.5トン)、伊豆山漁場が20%(2.6トン)、谷津漁場が15%(2.0トン)、オアカムロでは富戸漁場が71%(7.1トン)、谷津漁場が26%(2.6トン)であった。

*平年：昭和57年～令和5年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
メアジ	18.3	1.84	4.66	古網、伊豆山、川奈
ヒラソウダ	14.7	1.42	2.71	北川、谷津、古網
マルソウダ	13.5	0.27	0.40	伊豆山、川奈、古網
ヤマトカマス	13.1	0.38	2.52	古網、北川、伊豆山、谷津
オアカムロ	10.0	71.0	1.71	富戸、谷津

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通して利島および大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ12トン（前年同月比8%）であり、1隻当たりの水揚量はゴマサバ1.7トン（前年同月比22%）であった。マサバの水揚げはなかった。

平均単価は197円/kgで前月（213円/kg）、前年同月（207円/kg）並であった。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R6年11月上旬	-	10	2	4	-	2.5	-	193	利島、大島千波
中旬	-	2	2	3	-	0.6	-	259	利島、大島千波
下旬	-	-	0	0	-	-	-	-	-
R6年11月計	-	12	4	7	-	1.7	-	197	利島、大島千波
R5年11月計	-	151	12	20	-	7.6	-	207	大島千波
R4年11月計	-	198	11	17	-	11.6	-	150	大島千波

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

令和6年の秋漁は11月4日が初漁日であった。11月の出漁日数は7日、水揚量は50.7トンであった。（前年同月は7日、水揚量は39.7トン）。主漁場は大井川沖～榛原沖であった。水揚げされたサクラエビは体長30～32mmにモードを持つ当歳エビと39～41mmにモードを持つ1歳エビで構成されていた。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R6年11月上旬	2.3	1	榛原沖
11月中旬	31.4	4	大井川沖～榛原沖
11月下旬	17.0	2	大井川沖～榛原沖
R6年11月計	50.7	7	大井川沖～榛原沖
R5年11月計	39.7	7	焼津沖～榛原沖
R4年11月計	78.4	9	大井川沖～相良沖
R3年11月計	62.1	9	大井川沖～相良沖

【シラス船曳網】

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が90kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が130kgであった。平均水揚量は108kgで前年同月（75kg）の1.4倍、平年同月（過去5か年平均：119kg）の91%であった。また、総水揚量は81トンで前年同月（62トン）の1.3倍、平年同月（113トン）の72%で、前年を大きく上回ったが、平年同月を大きく下回った。平均単価は1,430円/kgで前年同月（2,075円/kg）の69%、平年同月（1,175円/kg）の1.2倍で、前年同月を大きく下回り、平年同月を大きく上回った。

7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	2.4	8	42	57	1,929
	舞阪	15.2	8	185	82	1,838
	福田	10.2	6	109	94	1,525
	御前崎	8.5	8	69	123	1,010
駿河湾	吉田	22.1	6	156	142	1,326
	用宗	22.4	10	185	121	1,317
	由比	0.0	1	3	6	2,730
R6年11月計	80.8	47	749	108	1,430	
R5年11月計	61.9	43	828	75	2,075	
R4年11月計	39.6	39	606	65	1,934	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年（令和元年～令和5年）の平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、伊東港では4.5トン（前年同月比28%、平年同月比14%）、沼津港、小川港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは小川港、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.2トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年：過去5か年（令和元年～令和5年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

11月 5日	～	11月 7日	地先定線観測調査	(3日間)
11月 10日			魚フェス一般公開	(1日間)
11月 11日	～	11月 12日	さば類撒餌、計量魚探調査	(2日間)
11月 18日			BISHOP 深海採水調査	(1日間)
11月 19日	～	11月 21日	キンメダイ漁場調査	(3日間)
11月 25日	～	11月 26日	サクラエビ音響調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

